

林政部森林経営課

## 県内産広葉樹種苗生産対策事業

＜R8 予算要求額 3,955 千円＞

【清流の国ぎふ森林・環境基金】

### (1) 趣旨（現状と課題）

- ・近年、再造林面積の1割程度の森林において広葉樹が植栽されているが、遺伝子かく乱防止に配慮した県内産広葉樹の苗木生産体制が未整備。
- ・生物多様性の保護の観点から、遺伝子かく乱防止に配慮した広葉樹の地域性種苗を植栽していく必要があること、全国的に広葉樹の森づくりが始まっていることから、県内の苗木需要に対応できる県内産広葉樹の苗木生産体制の整備が必要。

### (2) 事業内容

- ・遺伝子かく乱防止に配慮した広葉樹の苗木生産体制整備に向け、有識者及び苗木生産者等による検討会を開催し、種子及び苗木の移動範囲等を検討するとともに、広葉樹母樹林（ブナ他9種・全21箇所・計25.93ha）等から優良郷土種子を採種し、県の林木育種事業地等において苗木生産を試験的に開始。
- ・針広混交林化施業技術開発モデル事業地を対象に、多樹種からなる広葉樹林造成に向けて、遺伝子かく乱防止に配慮した県内産広葉樹苗木の植栽を令和9年度以降実施。

# 県内産広葉樹種苗生産対策事業

- 【前提】 遺伝子かく乱防止に配慮した県内産の広葉樹苗木が生産・流通していない。
- 【目標】 針広混交林化施業技術開発モデル事業地等を対象に多樹種からなる広葉樹林を造成。
- 【現状】 県内の再造林面積の1割程度の森林において広葉樹が植栽されているが、県内産広葉樹苗木が植栽されていない。
- 【課題】 種子及び苗木の移動範囲の検討、県内産広葉樹の苗木生産体制の整備、苗木事業者の育成

項目	R8.4 ~	R8.7 ~	R8.10 ~	R9.1 ~	R9.4 ~	R9.7 ~	R9.10 ~	R10.1 ~
苗木生産体制等の検討	R8年度検討会				R9年度検討会			
県内産広葉樹種子の採取 (委託事業)	R8年度事業		種子採種(9~11月)		R9年度事業			
苗木の試験栽培(委託事業)		採取種子の提供	セルトレーによる栽培		県育種場等にて苗木の試験栽培			
針広混交林化施業技術開発 モデル事業における苗木植栽							植栽 令和8年度選定地域 恵那市・下呂市 ほか	
苗木生産者等へのスタート アップ支援					・生産資機材の購入 ・県内産種子採種 ほか			